

中央工学校 O S A K A
学 校 関 係 者 評 価 書
(令和 3 年度)

評価対象期間

自：令和 3 年 4 月 1 日

至：令和 4 年 3 月 3 1 日

令和 4 年 8 月 3 0 日

中央工学校 O S A K A

学校関係者評価委員会

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者等を選任し、令和3年度の学校業務について、学校が自ら行った自己評価の結果について評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。なお、評価の観点は次の項目による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

3. 組織

(1) 学校関係者評価委員会

座長	小松原 学	富士教育訓練センター校長
委員	金沢ちかこ	公益社団法人日本インテリアデザイナー協会 西日本エリア副エリア長
	小坂田昌広	株式会社松本組取締役兼副社長執行役員
	田中 由之	株式会社ピーピーアイ計画・設計研究所 取締役設計室室長
	岩尾 美穂	オフィスいろどり代表
事務局	中村 聖吾	中央工学校OSAKA校長
	平上 秀明	中央工学校OSAKA教務部長
	原 充介	中央工学校OSAKA教務室長
	戸澤まり子	中央工学校OSAKA建築系学科長（教育）
	中島 征治	中央工学校OSAKA建築系学科長（進路・広報）

（敬称略・順不同）

(2) 任期

委員（座長含む）任期は令和4年4月1日～令和6年3月31日とする。

4. 実施

令和4年8月5日（金）、中央工学校OSAKA一号館31教室において、学校関係者評価委員会を開催した。

5. 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価委員会議事概要

ア. 議事の進行

中村校長の挨拶に続いて、事務局の平上教務部長から、学校評価（自己評価・学校関係者評価）の概要について説明があり、併せて学校関係者評価シートの記入について留意事項を確認した。

イ. 自己評価書について

①学校概要の確認

事前に送付されていた自己評価書をもとに、「建学の目的（アドミッションポリシー）」「基本的運営方針」「具体的方策（厳しい実務教育・人間涵養教育・楽しい学校生活・誇りの持てる学校）」及び学校の現状（「学生数」「教職員数」「学習概況」）について、学校が全般的に良好に運営されていること、教育内容の改善が継続的に行われていること等を確認した。

②自己評価結果の報告と学校関係者評価シートの記入

事務局の平上教務部長から、令和3年度自己評価書の下記項目について説明があり、その後、各委員による「学校関係者評価委員による評価」及び意見の記載を行った。（ ）内は自己評価書の評価項目番号

- (1) 教育理念・目的・育成人材像
- (2) 学校運営
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 留学生（国際交流）

続いて、事務局の戸澤建築系学科長から、令和3年度自己評価書の下記項目について説明があり、その後、各委員による「学校関係者評価委員による評価」及び意見の記載を行った。（ ）内は自己評価書の評価項目番号

- (3) 教育活動
 - 建築学科
 - 住宅デザイン科

■インテリアデザイン科

(4) 学修成果

■建築学科

■住宅デザイン科

■インテリアデザイン科

③自己評価総括の確認

自己評価結果を踏まえた課題が確認できた。それぞれの課題について、改善に向けて努力することを確認した。

(2) 学校関係者評価結果

学校関係者による評価の観点に照らし合わせ、以下について確認した。委員の意見を集約すると次のとおりである。

ア. 自己評価の内容が適切かどうか

令和3年度の業務について自己評価書に基づき報告を受け、内容を確認した。概ね妥当で自己評価の内容は適切であると判断する。

イ. 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか

理解しづらい記述があった。具体的でわかりやすい表現をお願いしたい。

コロナ禍にあり、難しい面もあるが、具体的に方策を練り、実施することで評価の向上を目指していただきたい。

ウ. 学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか

学校の重点目標や具体的方策等は、社会や業界のニーズを的確に捉えており、適切であると判断する。今後も企業との連携を一層深め、教育に反映させてほしい。

エ. 学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか

各項目において、問題点や課題が把握され、改善に向けた取り組みについて確認できた。適切であると判断する。

6. 項目別評価

(1) 教育理念・目標・育成人材像

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・教育理念・目的・育成人材像は定められているか。	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か。	4	3	2	1
・社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	3	2	1
・教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想は、学生・保護者等に周知されているか。	4	3	2	1
・教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想は、業界のニーズに対応しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・常に創意工夫を図り、継続的に対応していただくようお願いします。また、業界のニーズ（ハード面・ソフト面等）に対応も。

・ハード、ソフト両面の教育をされることはよいことだと思う。最近ではBIMのプレゼンがよく見られるようになり、プレゼンのスピードがスムーズかつ分かりやすいことから求められるようになってきていると聞くことがありますので、ソフトと合わせて教育されることを求められると思います。ソフト・プレゼンの手法なども教えられることがよいかと思う。

・記述の通り、社会情勢、要求事項は短期間で変遷しています。改善方策の記述に業界のニーズの把握が記述されていますが、把握の仕方について触れてみてはいかがでしょうか。

・適切に評価されていると思います。課題については今後も継続的に取り組んでいただきたいと思います。

・少子化で専門学校に求められる教育もさらに変化していくのだと感じます。学校の教育理念に基づきながらも時代に求められる教育を構築されることを願っています。

(2) 学校運営

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	3	2	1
・学則・細則・内規等は整備されているか。	4	3	2	1
・コンプライアンス体制が整備されているか。	4	3	2	1
・教育活動に対する情報公開が適切になされているか。	4	3	2	1
・情報システム化等により業務の効率化が図られているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・コンプライアンス及び情報システム化等、目的に沿った運営方針のもと整備されており、適切に行われていると思われる。

・広報活動を SNS で対応されていることはよいと思う。情報を SNS から取り入れる人がほとんどだと思います。

・コンプライアンスに厳しい世の中への対応も評価される。

・年々改善されていて素晴らしいと思います。

・学生のインターネット利用に関するコンプライアンス教育などもあってもよいかもしれません。

・情報システムを活用されるための整備には、個人情報の取り扱いマナーや管理体制の構築など、多大な労力もかかるかと思いますが、安全で効率的な管理・活用が行われますことを願います。

(3) 教育活動

■建築学科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

- ・授業の質を分析していただき、継続的に見直しを検討してください。
- ・教員資質向上に研修会等への参加を促進してください。
- ・【全科共通】授業評価の実施体制についての評価が「ほぼ適切」となっていることが気になります。モチベーションが下がるとのアンケート結果であるが、その都度コミュニケーションがとれているとそのような結果にならないのではと思いました。
- ・記述の通り、コロナ禍の中での教育方法は、臨機応変に選定対応する難しさを痛感しますが、よりよい選定をお願いします。
- ・適切に評価されていると思います。改善方針がよくまとめられていてわかりやすいです。
- ・【全科共通】授業アンケートの実施については、授業（学期）がスタートした早い時期に一度とるのがよいと思います。教員や授業に対する感想でもあると教員側も授業を進める工夫がしやすいと思います。

■住宅デザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・授業評価にて、アンケートなどがリアルタイムでとれる方法の検討を模索してください。

・成績評価の基準について、幅広い評価だと思われま。わかりやすく具体的に。

・いま求められている業界だと思いますので頑張ってください。

・適切に評価されていると思います。

・【全科共通】授業アンケート調査や評価方法はなかなか難しいと思いますが、継続して取り組んでいただきたいと思います。

・工業高校出身の学生に二級建築士資格取得のサポートを1年次からされるのは後々就職にも有利に働くかと思われまし、モチベーションUPにもつながるのではないかと思われま。

■インテリアデザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・どの教科も資質向上は必要と思われ、ますます努力が必要と思います。

・幅広い業界のため、方向性がないと難しいと思いました。

・「教員資質向上のための研修が行われているか」の項目、今後の改善方策についての記述がよく理解できなかった。

・適切に評価されていると思います。

・学習内容的にカリキュラムや採点基準を一定化するのはなかなか難しいと思いますが、学生が理解しやすい基準が明示されるとモチベーションも保ちやすいと思います。

(4) 学修成果

■建築学科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・資格取得の意義などアドバイスが必要です。社会のニーズなど。意欲の向上を図ってください。

・キャリア形成と教育内容の効果を把握してください。

・資格の意識を高めてほしい。若い時に取ると後が楽。

・卒業生からのアドバイスなどはとても大事なことだと思う。

・【全科共通】 マッチングアプリ的校友会の存在は必要だと思う。

・適切に評価されていると思います。

・【全科共通】 資格の取得は早いほうがいいと思いますので、学生のうちに勉強しておくことは重要だと思います。指導をよろしくお願いします。

■住宅デザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

- ・退学率の低減が図られている。変化にすばやく対応し、解決策を模索してください。
- ・資格の意識を高めてほしい。必要な業界だと思う。
- ・「卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか」の今後の改善方策の内容が理解しづらい。
- ・適切に評価されていると思います。
- ・コロナ禍で就職率100%は素晴らしいことだと思います。

■インテリアデザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・学生とのコミュニケーションを円滑にするよう関係を構築することが必要かと思います。

・「就職率の向上が図られているか」がやや不相当とあるのが気になる。卒業生のネットワークを強化し、校友会を広げていくと改善されると思われる。

・【全科共通】改善方策は色々あるでしょうが、すべてが出来るわけではないので、1項目あるいは可能な範囲の具体的項目で実施してみたいかでしょうか。

・適切に評価されていると思います。

・就職が決まらなかった学生のモチベーション低下(学科とのミスマッチ)の理由が気になりました。インテリアデザインは範囲が広いですから学生の目標としていることもそれぞれだと思います。早くから共に目標を見つけてあげられるサポートが必要かと感じました。

(5) 学生支援

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

- ・新型コロナウイルス感染症に対する保護者との適切な連携をお願いします。
- ・学生、保護者と誠実に向き合っているのがとても感じられる。
- ・コロナ感染拡大防止の中、大変苦勞されていると感じますが、引き続き、ご尽力お願いします。
- ・適切に評価されていると思います。
- ・コロナ関連の学生給付金等はなかなか学生では見つけにくい情報かもしれませんので、学校側で適切に案内されていることは素晴らしいと思います。
- ・コロナ禍により、健康面、精神面、経済面と様々な悩みを持つ学生が増えたことと思いますが、とても細やかにサポート体制もとられていると感じます。

(6) 教育環境

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されているか。	4	3	2	1
・学内外の実習施設・インターンシップ等について充分整備されているか。	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・コロナ禍の中、インターンシップ等について十分整備されており、オンラインなど考えられ、適切に行われている。

・学生の環境により差が出るなかでPCを配布しているのはとても安心できる。保護者の負担も少なくなるので良いシステムだと思います。

・適切に評価されていると思います。

・施設の整備、維持、管理をしっかりされているようで大変すばらしいと思います。

・コロナ禍の不便な環境の中、できることを細やかに取り組まれていると思います。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・学生募集活動は適正に行われているか。	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・丁寧な広報を実施し、教育の質を上げて学生の受け入れに力を。と思います。

・コロナにより活動ができなくなっているのは仕方がないと思いますが、今後も続いていくことだと思われるので、何か今風のやり方での SNS 等を強化した少し面白い展開をされるのはいかがでしょうか。何かあると思います。

・財務に関連しますので、記述のように広報関連費を削減されたのであれば、合理性及び効率性のより高い広報活動の展開に努めてください。

・適切に評価されていると思います。

・学生募集活動もなかなかやりづらい状況が続いていますが、いろいろ努力されていると思います。

・少子化、コロナ禍による影響、そして大学の学生受け入れ体制の変化に対する対応など、毎年大変なご苦労かと思います。その中で高校生たちが様々な条件をおいてでも御校に魅力を感じる何かがアピールできていくといいですね。

(8) 財務

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか。	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか。	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・入学定員の確保など、強化してほしいと思います。

・「財務情報公開の体制整備」について、今後の改善方策で、「学生募集体制（広報体制）の強化についての立案を促進する」の記述が理解しづらい。

・適切に評価されていると思います。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・法令等の授業などされており、適切と思われる。

・自己評価結果を公開しているのはよいと思う。

・適切に評価されていると思います。

・学生に対しても法令に関する研修を行われるのはよいと思います。個人情報保護はもちろん著作物や商標に関する知識も持っている社会に出てから役位立つかと思います。

(11) 留学生（国際交流）

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・留学生の受け入れについて戦略を持って行っているか。	4	3	2	1
・受け入れ・在籍管理等について適切な手続きがとられているか。	4	3	2	1
・留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・新型コロナの影響で留学生が激減している。戦略をもって受け入れを進めてください。

・コロナが続くと留学生の受け入れが難しいかと。しかし、海外ではデザインに対する意識が高いため、現地国とオンラインでの留学はできないのかと思いました。海外の講義を簡単に受けられる時代を利用できるとよいかと思いました。

・留学生や研修生の受け入れの学校や企業で、不適な事象の発生情報が見受けられますのでご注意ください。

・適切に評価されていると思います。

・今の状況ではなかなか留学生を集めるのは難しいと思いますが、継続して取り組んでいきたいと思っています。

7. 総括

令和3年度における学校業務について、自己評価結果の報告に基づき、学校関係者評価を行った。評価の観点に照らして、全般的に適切な自己評価結果であると判断する。

以上